

【開催報告 (国際研究連携、ベトナム)】

第 9 回日本・ベトナム共同ワークショップを開催しました

国土技術政策総合研究所 (国総研) とベトナム交通省交通科学技術研究所 (ITST) は、平成 22 年 (2010) 年 5 月に道路及び交通分野等における国際研究協力を実施していくことに合意し、これに基づき、平成 26 (2014) 年 11 月 18～19 日に第 9 回共同ワークショップを日本で開催しました。

(開催内容)

今回の共同 WS では、ITST 及び国総研の間でそれぞれ合意した各研究ロードマップに基づくこれまでの研究連携活動 (活動経緯は最終ページを参照) の一環として、道路交通騒音に関する共同 WS を開催しました。

参加者は、日本側から国総研研究者、ベトナム側から ITST の Nguyen Van Thanh 部長をはじめとする 3 名の研究者が参加しました。



第 9 回日本・ベトナム共同ワークショップの様子

(討議概要)

①各国の道路環境

各国の道路環境の状況について、国総研と ITST の両方から説明を行いました。

まず、日本側は、日本の道路を取り巻く環境問題について、道路の成り立ちや騒音、大気汚染、自然環境への影響、温暖化の観点から、現状と対策を紹介しました。

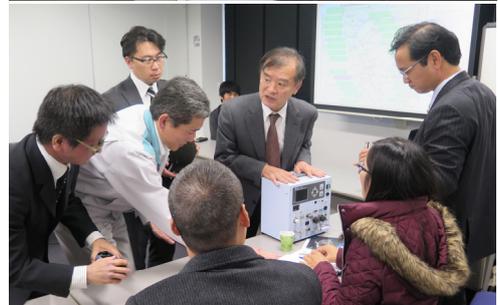
ベトナム側は、同じく、ベトナムの道路を取り巻く環境問題について、騒音と大気汚染の観点から、ハノイでの測定結果を中心に、紹介がありました。

両国の説明を通して、互いの道路環境の現状を確認するとともに、各国の交通事情の違いを考慮した環境基準の必要性についても確認しました。



②道路交通騒音の計測

このセッションでは、騒音計を取り扱うメーカーにも加わって頂き、道路交通騒音の測定方法や予測モデル、日本の騒音に関する基準や規制、騒音測定機器のメンテナンスについて発表がありました。今後のベトナムの道路交通騒音の測定方法については、環境基準と同様、ベトナムの交通事情を反映した方法が必要であることや、正確な測定結果を得るためには適切な測定機器のメンテナンスが不可欠であることなどを確認しました。



(参考) 活動経緯

国総研と ITST は、平成 22(2010)年 5 月に交わした研究連携に関する覚書に基づき、これまでに以下の通り共同 WS 等を開催しています。

開催年月	概要
平成 22 年(2010)5 月	交通省交通科学技術研究所(ITST)との研究連携覚書の締結
平成 22 年(2010)9 月	第 1 回共同 WS 開催 (ハノイ) (ベトナム国交通省副大臣他、港湾部隊含む)
平成 23 年(2011)2 月	第 2 回共同 WS 開催 (ホーチミン等) (ロードマップ合意)
平成 23 年(2011)6 月	ロードマップに基づく Study Tour in Japan 実施
平成 23 年(2011)7 月	第 3 回共同 WS 開催 (ハノイ) (ロードマップに基づく活動詳細議論等、研究室新設関連、暴露試験の連携合意)
平成 24 年(2012)1 月	第 4 回共同 WS 開催 (ハノイ) (ロードマップに基づく 2011 年度及び 2012 年度活動内容の発表と議論、並びに次年度中間報告会開催に向けた事前調整、文書確認 等)
平成 24 年(2012)6 月	3 カ国中間報告ワークショップ開催 (つくば他) (各研究ロードマップに基づくこれまでの研究連携活動について、研究実務者が共同で活動状況及び成果について中間報告を開催)
平成 24 年(2012)10-11 月	第 5 回共同 WS 開催 (ハノイ) (5 つの研究ロードマップに基づくこれまでの研究連携活動について、現在までの進捗状況の確認や意見交換)
平成 25 年(2013)11 月	第 6 回共同 WS 開催 (東京) (舗装分野の研究連携プロジェクトにおいて、①ベトナムのわだち掘れ対策に関する検討、②Thang Long 橋の舗装修復に関する検討、③ポーラスアスファルト舗装の適用性に関する検討を行った)
平成 25 年(2014)3 月	第 7 回共同 WS 開催 (ハノイ) (5 つの研究ロードマップ (道路騒音、舗装、道路トンネルの維持管理と耐震対策、港湾施設の維持管理、防食塗装) 及び高度交通システム (ITS) に関する発表や意見交換)
平成 25 年(2014)10 月	第 8 回共同 WS 開催 (つくば) (防食塗装分野の発表や意見交換)